

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12020110

政策目標	3	のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進	事業優先度	B		
単位施策	3	青少年教育の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	家庭教育推進事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	12 教育委員会教育振興課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	町内各学校での取り組み		関係別計画名	#N/A		
事業目標	全学校での開催		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加 住民協働	有	PTAとの協働	関係例規・法令名	無		
			関係個別計画名	無		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	家庭教育学級への助成支援 家庭教育講演会の開催	家庭教育学級への助成支援 家庭教育講演会の開催	家庭教育学級への助成支援 家庭教育講演会の開催	家庭教育学級への助成支援 家庭教育講演会の開催	家庭教育学級への助成支援 家庭教育講演会の開催	家庭教育学級への助成支援 家庭教育講演会の開催	
	事業費(千円)	1,900	400	400	400	300	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	1,900	400	400	400	300		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	757	254	211	138	54	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	757	254	211	138	54		
関 連 事 項	特定財源の名称						
	【評価・実績】	(実施内容等) 各学校の学級開設助成支援 開設学級2学級 家庭教育講演会 参加者61名 家庭教育映画会 参加者113名 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 各学校の学級開設助成支援 開設学級1学級 家庭教育講演会 参加者103名 ※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等) 各学校の学級開設助成支援 開設学級 2学級 家庭教育講演会 参加者 76名 ※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等) 各学校の学級開設助成支援 開設学級2学級 家庭教育講演会 参加者82名 ※事務事業評価結果 C-継続/内容の見直し・検討	(実施内容等) 家庭教育講演会 参加者 58名 ※事務事業評価結果 C-継続/内容の見直し・検討	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 全校の開催	年度達成率 64%	年度目標値 全校の開催	年度達成率 53%	年度目標値 全校の開催	年度達成率 35%
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率 13%	年度目標値 全校の開催	年度達成率 24%	年度目標値 全校の開催	年度達成率 32%	年度達成率 14%
	備考欄						
						33%	
						40%	

事業名	家庭教育推進事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	新谷 朋人
		評価者 作成者 職氏名	生涯教育係主査	櫻井 輝久

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	小学生・中学生及びその保護者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	学級数と参加者数								
【抱える課題やニーズは】	家庭における学びの場が不足している。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	家庭教育に関する学びの場を創出することで 家庭の教育力を向上させる。	① 開設学級	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>13学級</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>0学級</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>0.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	13学級	実績値	0学級	達成度	0.0%
目標年度	平成29年度										
目標値	13学級										
実績値	0学級										
達成度	0.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	家庭の教育力向上による児童の健全育成と家庭を取り巻く地域づくりの推進。	② 学級及び講演会等参加者数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>300人</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>58人</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>19.3%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	300人	実績値	58人	達成度	19.3%
目標年度	平成29年度										
目標値	300人										
実績値	58人										
達成度	19.3%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	家庭教育講演会	雄武町PTA連合会との共催による講演会の実施。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	家庭教育に関する学びの場を提供し、PTAが行う家庭教育事業に対する支援は、教育行政が担う必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

課題あり	設定した目標値の達成状況	PTA連合会との共催により講演会を開催し、学びの場を提供することができたが、家庭教育学級については開設学級、参加者数ともに目標を下回り、期待する効果は得られなかった。
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	講演会については計画どおり実施され、参加者へのアンケート結果からも満足度が高い内容だったと判断できる。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	講演会については、誰でも参加できる内容であることから、公平性は保たれている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
	C	
	講演会については計画どおり開催し、参加者の満足度も高いものとなったが、開設学級数及び参加者数ともに目標を達成できなかった。	

今後の展開方向
(Action)

	継続/内容の見直し・変更	
	家庭教育学級について周知を徹底し利用増を目指すほか、家庭教育学級の利用状況を鑑み他の政策事業と統合を検討するなど、利用者のニーズに応じた事業展開を図る。	

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止